

平成30年度東北地区国立大学法人等技術職員研修

技術第2班 遠藤 健太郎

1. 目的

東北地区国立大学法人等の教育・研究支援系技術職員に対し、講義、技術発表及び実技等を通して、高度の専門知識及び技術等を修得させ、もって、職員の資質の向上等を図ることを目的とする。

2. 期間

平成30年9月18日(火)～21日(金)

3. 主催及び会場

主催：(一社)国立大学協会東北地区支部

会場：東北大学片平キャンパス

(金属材料研究所2号館講堂)

東北大学青葉山キャンパス

(理学部自然史標本館)

4. スケジュール及び内容

<1日目 9月18日(火)>

12:00-12:50 受付

12:50-13:00 開講式

13:00-14:10 受講者自己紹介

14:20-15:20 特別講演①

「最先端技術で探る果ての宇宙」

講師：市川 隆 名誉教授

15:30-16:30 特別講演②

「放射線を知る！」

講師：千田 浩一 教授

16:30-17:00 事務連絡、実技講師紹介

<2日目 9月19日(水)>

8:50-9:00 オリエンテーション

9:00-15:35 口頭技術発表会 第1～4部

15:45-17:15 ポスターセッション

17:30- 技術情報交換会

会場：レストラン萩

片平キャンパス内

<3日目 9月20日(木)>

9:00-12:00 実技研修 前半

「デジタル写真の画期的技法」

1. 焦点合成の手法

・撮影法やソフトウェアによる合成処理

12:00-13:00 昼休憩

13:00-17:00 ・午前の続きで応用例

2. 三次元合成の手法

・撮影法やソフトウェアによる合成処理

<4日目 9月21日(金)>

9:00-11:00 実技研修 後半

・MRやVR技術による体験

11:20-12:00 実技報告会、閉講式

5. 研修会に参加して

本研修会の1日目では各受講者の自己紹介からはじまり、2つの特別講演が行われた。特別講演では普段知る機会の無い、天文学や宇宙観測装置の技術に関する内容や放射線の基礎、人体への影響や医療における放射線の利用等に関する内容で自身の専門分野外の知見を広げることができた。

2日目の技術発表会では、当方も産学連携の取り組みを発表した。また、他口頭発表・ポスターセッションにおいては、大学職員の日々の取り組み事例の見聞や情報交換ができ、有意義な時間を過ごせた。

3、4日目の実技研修では、市販のカメラとソフトを利用した被写体の全領域に焦点を合わせる撮影法や3次元合成ソフト、VR装置を利用した被写体の3D再現手法を学ぶことができ、最新技術に触れ、良い経験ができた。本研修会では専門知識習得及び大学職員との人脈もでき、今後に繋がる良い機会となった。